

【交流協会台北事務所主催】
2016年第3回日本語教育研修会
報告書

国立豊原高校日本語教師 賈志琳

テーマ：日本文化を取り入れたシラバスと反転授業の活用
場 所：交流協会台北事務所 B1
日 時：2016年11月12日(土)13:30～17:00

このたび交流協会台北事務所の主催により、特別に台北で研修会を開くことができたことを大変嬉しく思います。前回、2014年に国立台中科技大学で「文化を中心とした高校第二外国語の日本語授業プラン実践報告」というテーマで発表してからもう2年が経ちました。今回、研修会にいらっしゃった先生方は高校の日本語教師にとどまらず、大学や言語センター、また大学院生もいることに驚きました。先生方の日本語教育への情熱と、教授方法や経験を交流したいという気持ちが強く伝わってきました。

今回の研修で紹介したのは、前半は日本文化を取り入れたシラバス、後半は反転授業の活用です。私はこの十数年西苑高校と明德高校、そして豊原高校で教えてきました。そのうち、日本文化を取り入れたシラバスはすでに5年となりました。今回は5年間を通して積み上げてきた授業の内容をご紹介します。また、カリキュラムをどのように組み立てるか、学習目標・教案・学習記録ノートをどのように設計するか、評価方法、自己評価表、グループ相互評価表、ポートフォリオ、ルーブリック、生徒の作品なども紹介しました。後半では、反転授業についての準備内容、教育現場で教える順番、無料で使える教育プラットフォームサイト、映像の作り方を紹介し、最後に反転授業のメリットや問題点なども分析しました。

研修会では先生方からとても多くの質問が寄せられました。例えば、評価方法の採点基準、学習シートの作り方、反転授業のテーマ選択、おにぎりの準備材料などです。このような日本語授業の実践報告をきっかけにして、多くの先生方と経験を共有したり、意見交換をしたりすることはとても大切だと考えます。研修会後お互いに連絡先を交換し合ったので、今後いいアイデアや経験があればお互いに分かち合うことができるでしょう。今回の紹介が先生方の今後の授業の参考になれば幸いです。これからもよろしくお願い致します。